

2025年11月28日
株式会社Arent

Arent、M&A第5弾

見積作成・原価管理ソフト「使えるくらうど」を展開するアサクラソフトをグループ化

バックオフィスを起点に「アプリ連携型」を強化し、設計・工程まで一体で進む建設DXを推進

株式会社Arent（本社：東京都港区、代表取締役社長：鴨林 広軌、以下「Arent」）は、建設業向け業務ソフト「使えるくらうど」シリーズ（建築見積／工事台帳／建設勤怠等）を展開するアサクラソフト株式会社（本社：岡山県津山市、代表取締役：浅倉 鉄平）の株式取得（持分比率100%）を本日取締役会で決議いたしましたのでお知らせします。

これまでに4社をグループ化しており、本件が第5弾となります。
本件により、見積・積算から実行予算・工程・原価実績、さらに請求・勤怠までのデータ連携を「アプリ連携型」で強化し、数量自動抽出・単価候補提示・見積根拠生成・差異検知などのAI活用を実務へ段階的に拡張していきます。

なお、取得条件・スケジュール等の詳細は、同日付の適時開示 [「アサクラソフトの株式取得による完全子会社化に関するお知らせ」](#) をご参照ください。

株式会社Arentによる アサクラソフト株式会社の全株式取得（完全子会社化）のお知らせ



代表メッセージ

本件についての代表取締役社長・鴨林による解説動画を公開しております。
以下よりご覧いただけます。

▼解説動画

<https://youtu.be/6JDPQqG7hU4>

目的

Arentは、各プロダクトが単体で完結するのではなく、業務間のデータをAPI等でつなぐ「アプリ連携型プラットフォーム」の実現を目指しています。「アプリ連携型」とは、業務ごとに最適な専門アプリ（SaaS）を導入し、それらをAPI等で接続することで、設計・工程・原価・勤怠・請求などを横断したシームレスなデータ共有を可能にする仕組みです。

今回のアサクラソフト参画により、見積・積算および工事台帳の領域がグループ内で連携され、原価・勤怠・請求などバックオフィス側の情報を工程・設計などフロント側にスムーズに引き渡すための体制を強化します。

Arentはこれまで設計・施工などフロント業務で強みを培ってきましたが、原価・台帳・請求・勤怠などバックオフィス領域のカバーは限定的でした。本件では、フロントとバックオフィスを橋渡しする原価管理をグループ内に取り込み、業務横断のデータ連携を加速します。

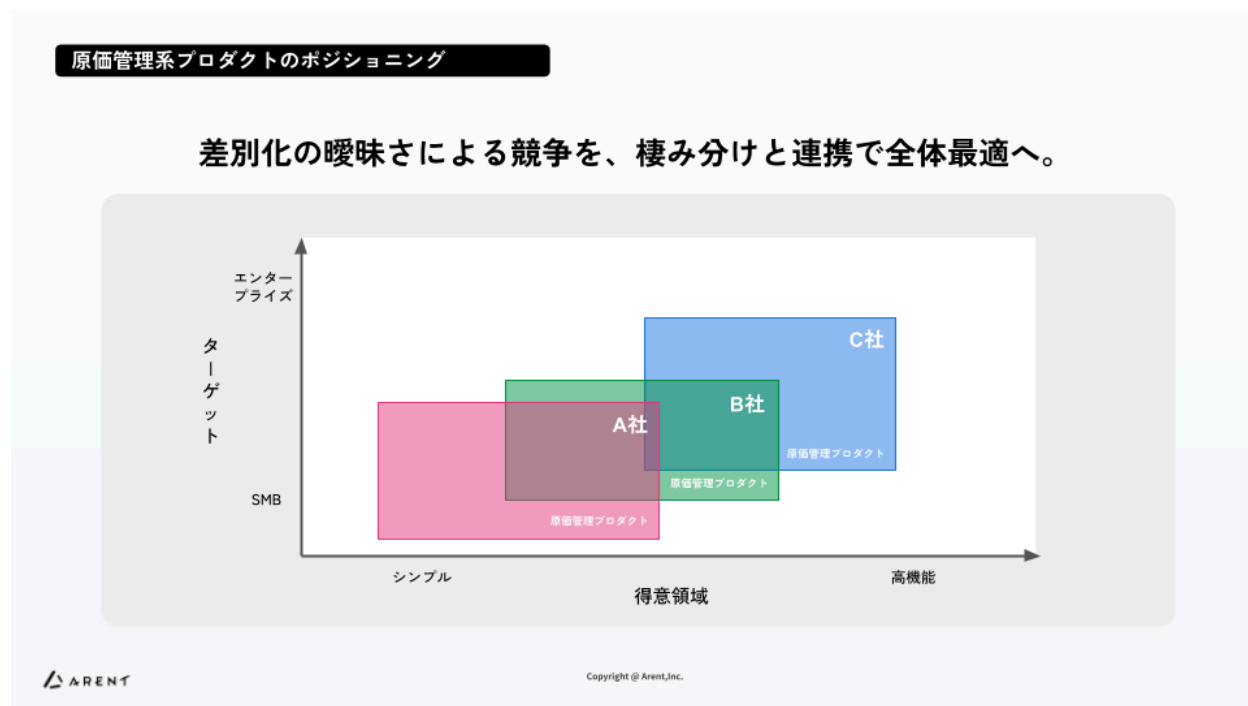
具体的には、見積・台帳・勤怠で生成されるコスト関連データを工程（PROCOLLA）や設計・数量（LightningBIM）へシームレスに引き渡し、計画と実績の差異把握と是正を迅速化します。

さらに、バックオフィスはフロントに比べて市場規模が大きく、同領域へのアクセス拡大は当社グループにとって重要な意義があります。フロント／バックオフィス間の情報分断を解消し、原価情報の即時反映による意思決定を高速化、アプリ連携型で全体最適を図ることで、当社の強みをバックオフィスまで拡張する第一歩と位置付けます。本件は、Arentが掲げてきた「アプリ連携型プラットフォーム」構想の具体化する取り組みです。

原価管理領域における本件の位置づけ

本件は、2025年11月にグループ参画した建設ドットウェブ（原価管理ソフト）に続く、同領域での2件目の買収となります。建設業界の「原価管理」領域には、実務上の得意領域や主要ターゲットが異なる複数プロダクトが存在する一方、その違いが市場から見えにくく、機能・価格面での非生産的な競争が生じやすいという課題があります。

Arentは、グループ内プロダクトの役割・強みを明確化し、顧客規模・業務特性に応じた最適配分を行います。



建設ドットウェブとの棲み分け

原価管理領域での重複や価格競争を避けるため、グループ内プロダクトの役割を明確化します。

- 使えるクラウドシリーズ（アサクラソフト）：
見積～工事台帳～勤怠を軽快に一气通貫で運用したいお客様向け。
- どっと原価シリーズ（建設ドットウェブ）：
原価の深掘り、詳細帳票、会計連携を重視するお客様向け。

この棲み分けを前提に、両製品を「アプリ連携型」で PROCOLLA（工程）、現場ナビ工程、BUILD一貫シリーズ、LightningBIMシリーズ 等とAPI連携させ、フロント／バックオフィスを横断した最適化を図ります。これにより、用途に応じた適切な提案が可能となり、機能の補完と導入効果の最大化を目指します。

今後の展望

建設業界は、熟練技術者の減少や人手不足、生産性の課題が深刻化しています。Arentグループは、各専門領域のソフトウェア企業と連携しながら、BIM・AI・データ連携を軸とした業界DXモデルの構築を進めるとともに、アプリ連携型プラットフォームのさらなる進化を通じて、建設業務の効率化とユーザー利便性の向上を目指してまいります。

▼本件に関する詳細は、以下の適時開示資料をご参照ください。

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/5254/tdnet/2725799/00.pdf>

会社概要

会社名：株式会社Arent

所在地：東京都港区浜松町2-7-19 KDX浜松町ビル

代表者：代表取締役社長 鴨林広軌

設立：2012年7月2日

資本金：8億11百万円

事業内容：建設・プラント業界向けDX支援、システム開発・販売

Webサイト：<https://arent.co.jp/>

<本件に関するお問合せ>

ir@arent3d.com

以上